

# 取扱説明書

改訂版②

## 電動ラッセル除雪機

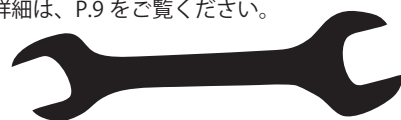
### HG-K5080E

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してからお使いください。



★組立にはスパナやモンキーレンチが必要です。  
詳細は、P.9 をご覧ください。



除雪作業中に問題があった場合でも、その場で解決策の動画をご覧いただけるよう本体にQRコードを貼っています。  
詳細は、P.6 をご覧ください。



# 目次

はじめに	3	各部の緩みやガタツキの点検	17
安全上のご注意	3	<b>運転操作の仕方</b>	<b>18</b>
製品を長くご愛顧いただくために	3	バッテリーの充電の仕方①	18
<b>安全にお使いいただくために</b>	<b>4</b>	バッテリーの充電の仕方②	19
除雪機に係る安全事項	4	始動の仕方	21
除雪機の作業に係る安全事項	5	バックセンサー機能	22
<b>安全ラベル</b>	<b>6</b>	停止の仕方	22
<b>主要諸元</b>	<b>7</b>	電動での移動の仕方	23
<b>各部の名称</b>	<b>8</b>	手押しでの移動の仕方	23
<b>梱包部品一覧</b>	<b>9</b>	除雪作業の仕方	24
<b>組立て</b>	<b>10</b>	除雪作業の仕方（雪を片側に寄せる）	25
ハンドルの取付け	10	除雪作業の終了	25
ブレードの取付け	11	<b>点検・整備の仕方</b>	<b>26</b>
サブハンドルの取付け	11	スクレーパーの点検	26
ロッドの取付け	12	バッテリーの点検	27
サイドパネルの取付け	12	クローラーの点検	27
配線の仕方	13	モーター軸のボルトの点検	27
<b>各部の取扱い</b>	<b>14</b>	クローラーの張り調整	28
電源スイッチ	14	グリス・潤滑油の塗布	29
バッテリー充電用ソケット	14	充電器の点検	29
インジケータランプ	14	お手入れ	29
ブレード高さ調整レバー	14	保管	30
前後進切替スイッチ	15	<b>運搬の仕方</b>	<b>31</b>
アナウンス ON/OFF スイッチ	15	荷台への乗せ方	31
安全レバー	15	荷台からの降ろし方	31
ライトスイッチ	15	ロープの固定方法	31
変速スロットル	16	<b>故障かな？と思ったら</b>	<b>32</b>
サブハンドル/ブレード左右回転レバー	16	<b>保証内容について</b>	<b>34</b>
クローラーロック	16	<b>お客様ご相談窓口</b>	<b>35</b>
ノブハンドル	16		
<b>運転前の点検</b>	<b>17</b>		
接続コネクタの点検	17		
バッテリー残量の点検	17		
グリス・潤滑油の塗布	17		
ブレード/スクレーパーの点検	17		
クローラーの点検	17		

# はじめに

このたびは除雪機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。  
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。  
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

## 安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



### 警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



### 注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



### 禁止

取扱においてその行為を禁止します。



### 指示

指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

## 除雪機に係る安全事項

### 警告



禁止

- 本機は、除雪をする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。
- 改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 電気ショックは、深刻な怪我や死亡の原因になります。
- 機械が動いている際には、どんな部品も水と接触させないようにしてください。もし機械が湿気を帯びた場合、始動させる前に拭いて乾かしてください。
- 長靴についても、感電防護に注意が必要です。水たまりの中に立ったり、濡れた手で機械等に触らないでください。



指示

- 砂利、ガラス、ガラス屑、鉄釘、ワイヤ、がれきなどを、除雪機によって拾い上げたり投げたりすると、深刻な人的被害をもたらす原因となります。作業前には、このようなすべての異物を作業場所から取除いてください。
- 作業をする場所からは子供やペット等は遠ざけてください。
- 機械の作業音により、人が近づいてきても気づかないことがあります。
- 始動前点検を実施してください。
- 本機をご使用になる前に、始動、停止の仕方を覚えてください。
- 可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ブレードに接触すると負傷または死亡する恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合はバッテリー接続コネクタを抜いてください。不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。
- 長期保管する場合は、屋内で、湿気の少ないところに保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。

### 注意



禁止

- 本機には余分な負担を加えないでください。モーターに損傷を与える可能性があります。
- 極端な気温状況下では、本機の部品が凍ってしまう可能性があります。部分的に凍った機械を、そのまま動かさないでください。もし使用中に機械が部分的に凍った場合、スイッチを切り本機を止めてください。その後、凍った部分のチェックをして拭取り、確認してから除雪作業を再開してください。
- 安全保護装置であるガード及びカバーを取外して運転をしないでください。





指示

- 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 部品交換は、純正部品を使用してください。
- 定期点検整備を行ってください。



# 安全にお使いいただくために

## 除雪機の作業に係る安全事項

### 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。</li><li>• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。</li><li>• ご使用時は、使用者から 15m 内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。・運転区域には、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れないでください。</li><li>• 除雪機の前方に人を入れないでください。</li><li>• 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li><li>• 砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。</li><li>• 雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。</li><li>• ブレードに顔や手足、衣服などを近づけないでください。</li><li>• 傾斜面を横切って除雪しないでください。</li><li>• 坂道での除雪や停車はしないでください。</li><li>• 可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。</li><li>• 走るような操作はしないでください。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>• 雪が降る前に運転区域内の木片、缶、ホース、線材、ナワ及びその他の異物等をすべて除去してください。</li><li>• ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。</li><li>• 建物、自動車及び破損の恐れがある建造物の周囲で除雪をする時は、それらの方向に排出された雪が当たらないようブレードの角度を調整して運転をしてください。</li><li>• 適切な時期に休憩をとってください。</li><li>• 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。</li><li>• 移動する時は、ブレードを上げてください。</li><li>• 危険を感じたり、予測される場合も、必ず停止してください。</li><li>• 除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかに停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。</li><li>• 滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。</li><li>• 坂道の走行には注意してください。</li><li>• 後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。</li><li>• 除雪時は操作に集中し、特に後進時は、滑らないよう足元にご注意ください。</li><li>• 除雪機を輸送したり、使用しない時、停止する時は、ブレードを接地させてください。</li></ul>

### 注意

 禁止	人、動物、自動車、建物に向けて進行しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>• 除雪作業中に、異物によって異常が発生した場合やクローラーに異物が巻付いた時は、すぐに停止し、バッテリー接続コネクタを抜いてから異物を取除いてください。除雪機に破損がないが確認し、破損が確認された場合は完全に修理してからご使用ください。</li><li>• 風向きに注意してください。向かい風の場合、投雪が作業人や、除雪した道へと投げ返す可能性があります。風向きと同じ方向へ投雪してください。</li></ul>



# 安全ラベル

本機に下記の安全に関するシールが貼付けされています。

ご使用前にご確認ください。

なお、シール内容は改良など諸条件により予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



## 警告

### バッテリーの液漏れ、破裂、発火などの原因となる恐れがあります。

- バッテリーを落としたり、衝撃を加えたりした場合や、バッテリーに亀裂、破損が確認された場合は、直ちに使用を中止してください。
- 充電中は発生したガスに引火し爆発する恐れがあります。火気を近づけないでください。
- バッテリー端子、接続コネクタが濡れた状態、又は、手が濡れている状態では、接続コネクタの抜挿はしないでください。
- バッテリー、充電器を分解、改造をしないでください。

### 感電、ショートなどの原因となる恐れがあります。

- 必ず充電は、電源スイッチを「OFF」にし、専用充電器で行ってください。
- 充電は火気を近づけず通気の良い場所で行ってください。
- バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合接触に注意してください。感電や火災の恐れがあります。
- コンセントと充電器の間に延長ケーブルを使用しないでください。

除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。使用しない期間も3か月に1回は充電してください。



### 警告

- ・ 後進する際は、後方に障害物がないことを確認してください。
- ・ 斜面では使わないでください。



### 注意

- ・ 前進、後進の切替は走行レバーを放した状態で行ってください。



困った時は動画をチェック



このQRコードを読み取ることで、「組立て」「運転操作の仕方」「点検・整備の仕方」等を動画でご覧いただくことができます。また、「整備手順」や「取扱いの注意」等最新情報を随時追加・更新していきます。ぜひご利用ください。

※本取扱説明書と動画では、手順が異なる場合があります。ご了承ください。

## 主要諸元

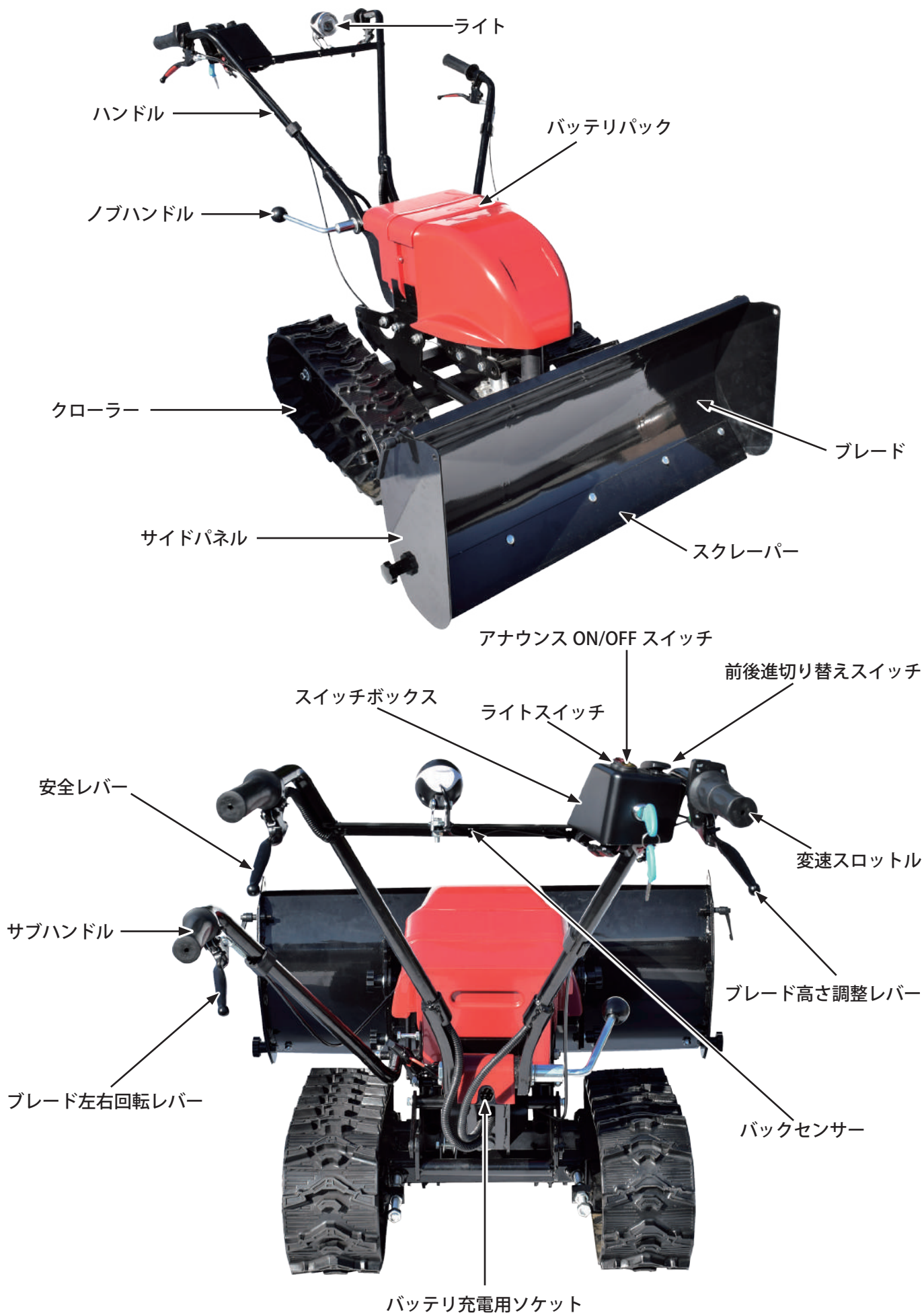
---

モデル名	HG-K5080E
走行	自走式
ブレードの幅	850mm
ブレードの高さ	330mm
ブレードの回転角度	左右 30°
速度	無段階制御
駆動モーター	DC モーター 24V-500W
バッテリー	鉛蓄電池 (12V-20Ah × 2)
充電時間	5-8 時間、60 分以上充電する
バッテリーパック重量	14.5kg
重量	72kg
サイズ	L1365 × W850 × H1155mm ※高さはハンドルの高さにより変わる

◎ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

# 各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。





# 梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。  
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。



**警告**

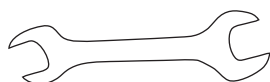
不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<b>A. 本体</b> 	<b>B. サイドパネル</b> 	<b>C. ノブナット</b> 
<b>D. ブレード</b> 	<b>E. ノブレバー</b> 	
<b>F. 充電コネクタ</b> 	<b>G. 充電器</b> 	

※写真はプロトタイプのため、製品仕様が変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

## ■ご用意いただく工具（組立時に必要な工具）

- 13mm、19mm（クローラーの張り調整）のスパナ又はレンチ・・・1本



# 組立て

## ⚠ 注意

- 説明書をよく読んでで正しく取付けてください。
- 作業中に始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付いていることを確認してください。

★市販の 13mm スパナ又はレンチをご用意ください。

## ハンドルの取付け

- 1** ハンドルに予め仮留めしているノブハンドルとボルト、平ワッシャ、スプリングワッシャを一旦取外します。



- 2** ハンドルを一旦取外し反転させます。ハンドルを少し広げ、取付穴を本体の取付穴と合わせます。



- 3** ボルトを取付穴に通します。



- 4** ボルトに平ワッシャ、スプリングワッシャ、ノブハンドルの順で取付け、操作しやすい位置にハンドルの角度を合わせ、ノブハンドルを締付けます。



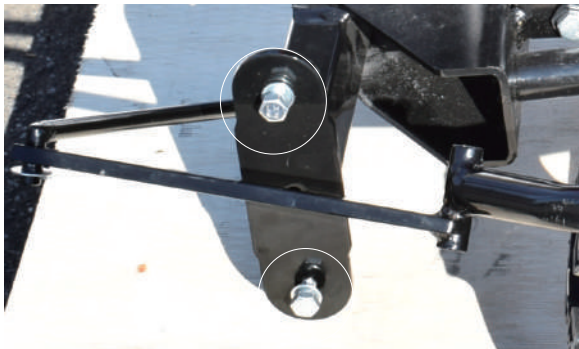


# 組立て

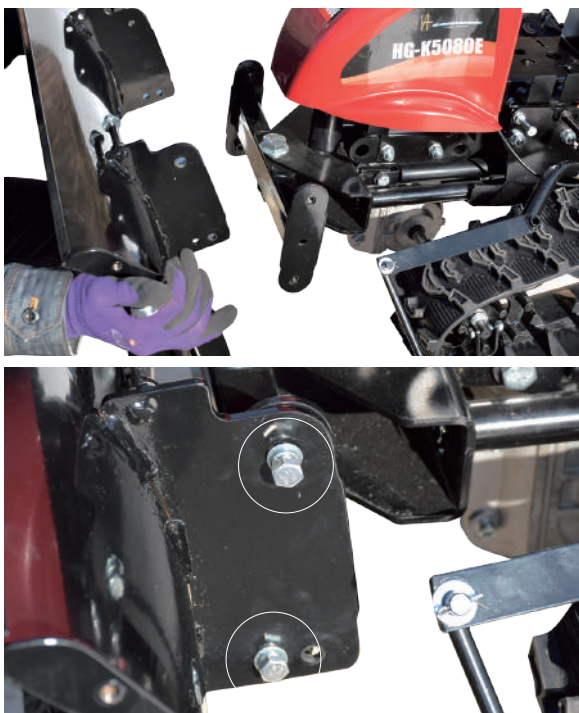
## ブレードの取付け

ブレードを本体に取付けます。

- 1 本体ブレード取付部のボルト、ワッシャを一旦取外します。



- 2 ブレードの取付穴を合わせ、ボルト、ナットを仮留めします。



## サブハンドルの取付け

- 1 本体に予め取付けているナット、ワッシャを一旦取外します。



- 2 本体軸部分にサブハンドルの取付穴を通します。



- 3 ワッシャを通し、13mm のスパナでナットを締付けます。



# 組立て

## ロッドの取付け

ロッドをブレードに取付けます。

- 1 ブレード背面のナット、ワッシャを取外します。



- 2 ロッドの向きに注意して取付パイプをボルトに通し、ワッシャ、ナットで固定します。

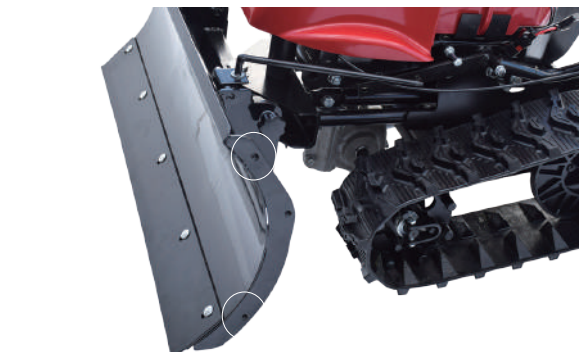


- 3 13mm のスパナでナットを締付けます。

## サイドパネルの取付け

サイドパネルをブレードに取付けます。

- 1 ブレード横の上下の取付穴にサイドパネルの穴を合わせます。



- 2 上部はノブレバーで固定します。



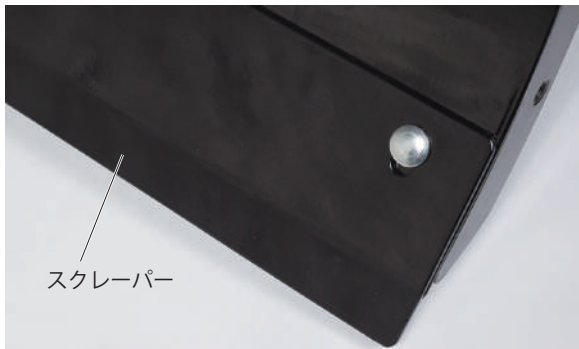
- 3 下部はノブナットで固定します。





# 組立て

- 4** 本機を平坦な場所に置き、ブレードを接地させます。  
その際、スクレーパーがサイドパネルより2mm程度出ているか確認します。(調整は、P.26 参照)



## ⚠ 注意

スクレーパーがサイドパネルよりはみ出ていると、サイドパネルとブレード本体が路面と干渉し、摩耗して破損の原因になります。

## 配線の仕方

- 1** 写真のように接続します。



- 2** ツメ部分が必ずロックしたことを確認してください。

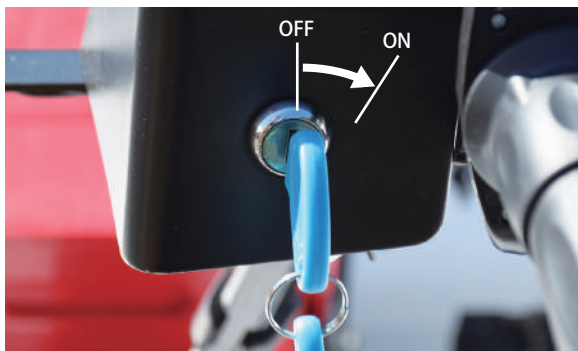




# 各部の取扱い

## 電源スイッチ

電源スイッチの「ON」「OFF」をします。操作する際は、安全レバーから手を放してください。



### ON

運転中の位置です。  
※キーの抜取りはできません。

### OFF

停止する位置です。  
※キーの抜取り、挿込みができます。

### ⚠ 注意

長時間「ON」の位置で放置しないでください。  
バッテリー上がりの原因になります。

## バッテリー充電用ソケット

充電器の3ピンコードを挿込んで充電をします。



### ⚠ 注意

- 除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。充電せずにそのまま放置すると、自然放電しバッテリーの性能が著しく低下します。
- 使用しない期間も3カ月に1回は充電してください。
- 充電を行わないで消耗した場合、専用の充電器では充電ができなくなります。バッテリーの交換が必要になります。

## インジケータランプ

バッテリーの残量をランプで表示します。



### MAX

満充電で約1時間使用可能です。  
※赤・橙・緑のすべてが点灯します。

### MID

残り約半分です。

### MIN

残りわずかです。充電をしてください。

※使用可能時間は、使用状況により異なります。また、バッテリーの性質上徐々に性能が低下していきますので、使用時間が上記に満たない場合があります。

## ブレード高さ調整レバー

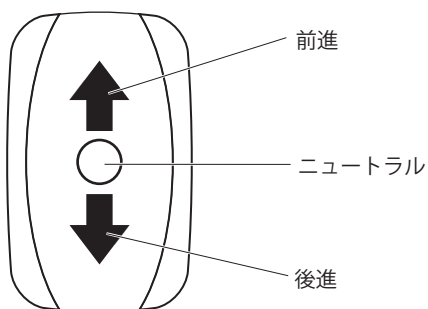
レバーを握ってハンドルを押し下げ、レバーを放すと、その位置でブレードが固定されます。もう一度レバーを握ると解除されます。






# 各部の取扱い

## 前後進切替スイッチ

前進、後進の切替えを行います。



操作する時は、安全レバーから手を放します。

-  押すと前進します。(最高速度 2.4km/h)
-  ニュートラルで停止状態です。
-  押すと後進します。(最高速度 1.9km/h)

### ⚠ 注意

安全レバーを握りながら、前後進切替スイッチの操作は行わないでください。

## アナウンス ON/OFF スイッチ

後進した際のアナウンス「バックします。ご注意ください。」を ON/OFF することができます。安全のため ON にしておくことをおすすめします。



## 安全レバー

走行、停止させる時に操作します。



**握る** レバーを握り、スロットルを左に回すと走行します。

**放す** レバーを放すと停止します。

## ライトスイッチ

スイッチ「I」の位置にするとライトが点灯します。



### ⚠ 注意

ライトは、暗闇を照らすものではなく、視界が悪い時や薄暗い時に、他者に視認させるものです。



# 各部の取扱い

## 変速スロットル

安全レバーを握り、左に回すと走行を開始します。多く回すと速度が速くなり、少なく回すと遅くなります。



## サブハンドル/ブレード左右回転レバー

左側のサブハンドルのレバーを握ることで、ブレードの向きを変えることができます。



## 握ってハンドルを下げる

ブレードが右に向きを変えます。(1段、2段)



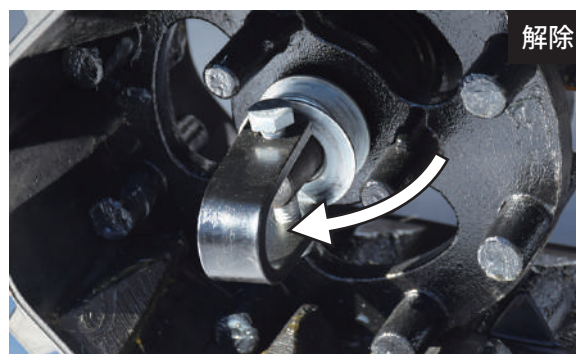
## 握ってハンドルを上げる

ブレードが左に向きを変えます。(1段、2段)



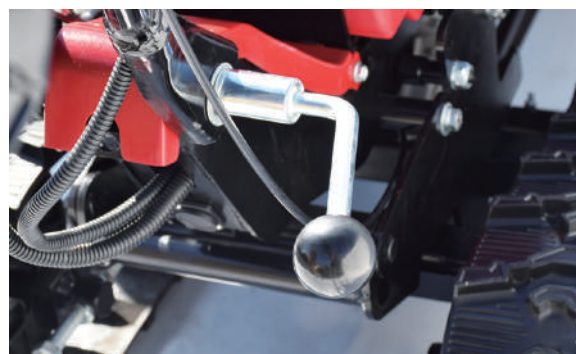
## クローラーロック

クローラーロックを解除するとクローラーがフリーになります。移動の時便利です。



## ノブハンドル

ノブハンドルを反時計回りに回すと緩み、ハンドルの角度を変えることができます。



# 運転前の点検

## 警告

- ・充電中は、バッテリーパックの点検・整備を行わないでください。
- ・運転前の点検・整備は、本機を平坦な場所に置き、電源スイッチキーを抜いて行ってください

## 接続コネクタの点検

バッテリーパックや接続コネクタの周りに水滴や雪などが付着していないか確認します。また、接続コネクタが確実に挿込まれているか確認します。



## 注意

バッテリーを充電する際は、必ず接続コネクタを取付けてから行ってください。

## バッテリー残量の点検

電源スイッチを「ON」にし、バッテリー残量を確認します。緑ランプ（MAX）が点灯していないようであれば、すぐに充電をします。



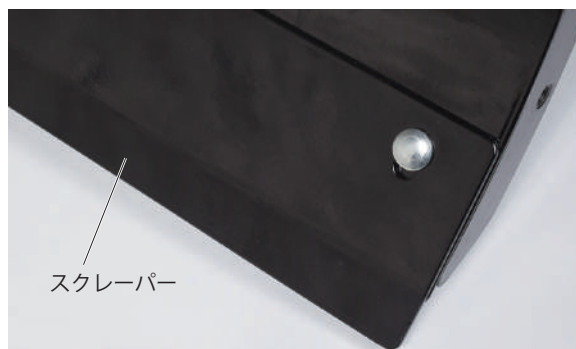
## グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分、摺動部、可動部を清掃し、グリスや潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。  
(P.29 参照)

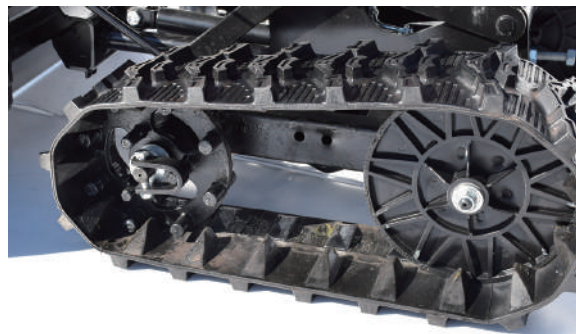
## ブレード / スクレーパーの点検

亀裂や破損、ボルト、ナットの緩みがないか確認します。また、スクレーパーがサイドパネルより 2mm 程度出ているか確認します。(P.26 参照)



## クローラーの点検

張り具合、亀裂や破損がないか確認します。また、異物が挟まっていないか確認します。(P.27 参照)



## 各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



# 運転操作の仕方

## 警告

- バッテリーは引火性ガス（水素ガス）が発生し、取扱いを誤ると爆発し、怪我をする恐れがあります。下記を必ず守ってください。
- 火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、火気を近づけないでください。爆発の恐れがあります。
- 落下などの強い衝撃を与えないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。万一、バッテリー液が皮膚、衣服などに付着した時はすぐに多量の水で洗い流してください。万一、目に入った時は、すぐに多量の水で洗い流し、医師に相談してください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。

## 注意

- バッテリーは密閉式の 24V です。
- バッテリーは液入り充電済です。液の補充・点検は不要です。
- 充電には、専用充電器を使用してください。
- 長期間で使用にならない時でも、3 カ月に 1 回は充電してください。
- バッテリーを交換する時は、必ず同型式のバッテリーを使用してください。
- バッテリーの使用温度の範囲は、 $-20 \sim 25^{\circ}\text{C}$  です。

## バッテリーの充電の仕方①

始動前に必ずバッテリーの充電を行ってください。  
バッテリーを充電する際は、各部が濡れていないことを確認してから行ってください。

### 1 バッテリー充電用ソケットカバーを開きます。



### 2 充電器の 3 ピンコードをバッテリー充電用ソケットに挿入します。



### 3 バッテリーの充電の仕方②の手順 5 ～ 10 まで同様です。



# 運転操作の仕方

## バッテリーの充電の仕方②

バッテリーを外して、直接充電することもできます。

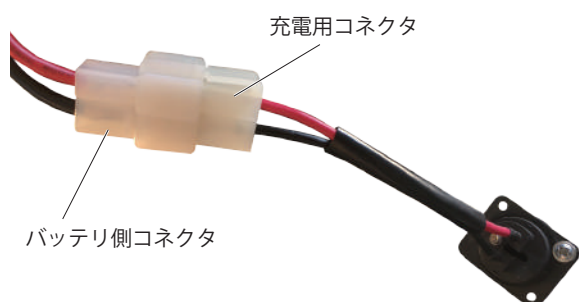
- 1** コネクタのツメ部分を押し込みツメを解除して引抜きます。無理に引抜くと配線が外れてしまいます。



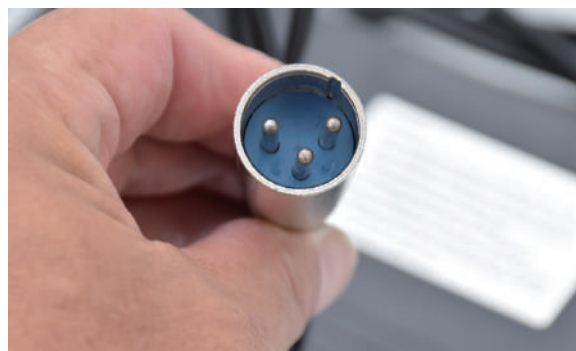
- 2** バッテリーパックを真上に引抜きます。



- 3** バッテリーのコネクタに充電用コネクタを接続します。取外す時は、写真①と同様にツメ部分を押し込みツメを解除して引抜きます。無理に引抜くと配線が外れてしまいます。



- 4** 充電器の3ピンコードをバッテリー充電用ソケットに挿入します。

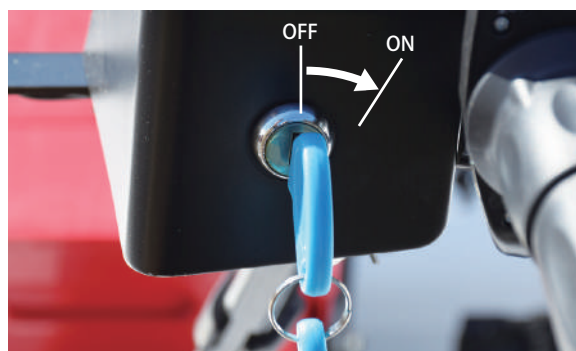


- 5** 充電器の電源プラグを家庭用 100V のコンセントに挿入すると、充電器のランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。充電時間は、およそ 5～8 時間で、最低 1 時間以上は充電をしてください。



- 6** 充電になると、ランプが緑に変わります。充電は自動的に停止します。

- 7** 電源スイッチを「ON」の位置にします。



## 運転操作の仕方

- 8** バッテリー残量を確認します。3つのランプが点灯していれば満充電です。



- 9** 漏電や感電の事故を防ぐため、充電器の電源プラグをコンセントから抜いた後に、バッテリー充電用ソケットから3ピンコードを抜いてください。

- 10** バッテリー充電用ソケットのカバーを閉じます。

### 警告

- 変形、破損のある電源コードや電源プラグは、使用しないでください。ショート、発火、感電の原因になる恐れがあります。
- 電源プラグの抜き差しは確実に行ってください。
- 延長コードを使用するなどして屋外で電源プラグを接続する場合は、雪や水がかからないように十分注意してください。感電の原因になる恐れがあります。
- 雷が発生したら直ちに充電を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 注意

- 充電には専用の充電器をご使用ください。
- 充電に最適な温度は、10～25℃です。適温範囲外で充電した場合、除雪作業ができる時間が短くなりますのでご注意ください。
- 除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。充電せずにそのまま放置すると、バッテリーの性能が著しく低下します。
- 使用しない期間も3ヵ月に1回は充電してください。著しくバッテリーの性能が低下した場合、専用の充電器での充電ができなくなります。

# 運転操作の仕方

## 警告

- 本機は、屋外や道での除雪用途の目的に合わせて設計されています。除雪以外の目的で使用しないでください。
- 本機を他の目的で使用したために被った被害については、いかなる責任も負いません。
- 本機を誤った操作を行ったために受けた個人的な負傷、損傷や他の財産への被害については責任を負いません。
- 機械操作においては、安全な使用を心掛けてください。

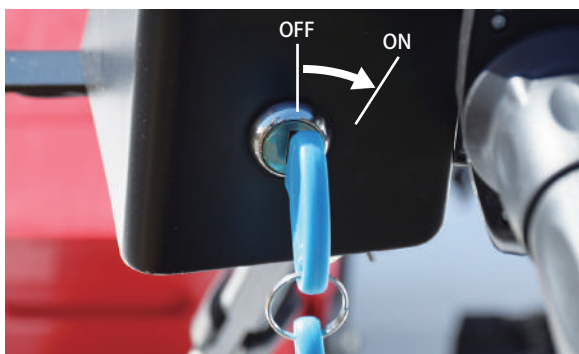
## 注意

- 除雪作業を行う際は、手袋、帽子、防寒着、長靴など着用してください。
- 本機の操作を行う場合は、必ず両手でハンドルを握ってください。

## 始動の仕方

安全レバーから手を放した状態で行います。

- 1 電源スイッチキーを挿込み「ON」にします。



- 2 前後進切替スイッチを進行方向「前進又は後進」にします。

後進の場合は、「バックします。ご注意ください。」とアナウンスが流れます。

※このアナウンスはアナウンス ON/OFF スイッチで消すこともできます。



- 3 安全レバーを握ります。



- 4 変速スロットルを少しずつ回すと進行します。



## 警告

- 変速スロットルを勢いよく回すと、急発進し大変危険です。操作はゆっくり少しずつ行ってください。
- 後進操作をしても後進しない場合は、バックセンサーが危険を感知し停止している状態です。危険を排除することで後進が可能となります。(P.22 参照)

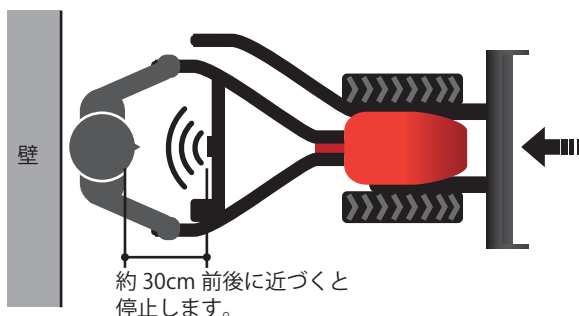
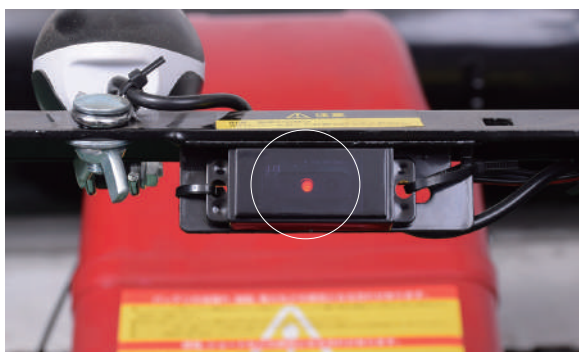


# 運転操作の仕方

## バックセンサー機能

後進操作をした際、「バックします。ご注意ください。」というアナウンスと同時に後進しますが、体がバックセンサーに近づき過ぎるとセンサーが働き、停止する安全設計になっています。これにより本機と壁の間に挟まれるという事故を低減します。

- 1 センサーが働くとランプが点灯し、後進を停止します。



- 2 ランプが消灯すると、後進が可能になります。

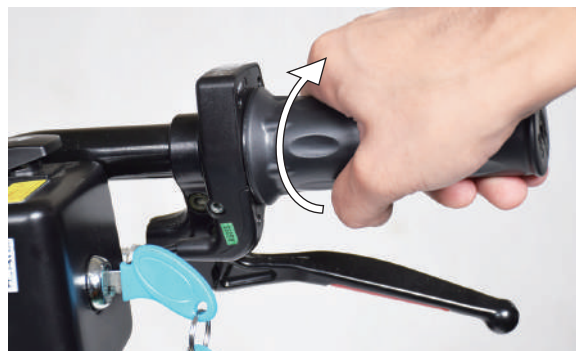
## ⚠ 注意

ハンドルの角度や使用状況、気象状況により、センサーが反応しない場合や反応距離が近すぎたりすることがあります。

このセンサーはあくまで補助的な機能と考え、後進の際は、目視で後方確認及び転倒等しないよう十分ご注意ください。事故による責任は一切お受けできませんのでご了承ください。

## 停止の仕方

- 1 変速スロットルを戻します。



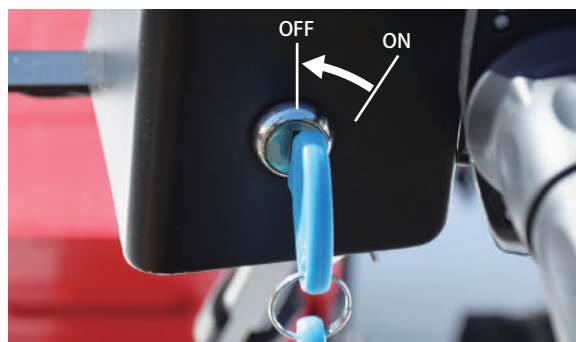
- 2 安全レバーを放します。



- 3 前後進切替スイッチを「ニュートラル」の位置にします。



- 4 電源スイッチを「OFF」の位置にします。



# 運転操作の仕方

## 電動での移動の仕方

- 1 ブレードを上げます。ブレード高さ調整レバーを握ってハンドルを押し下げレバーを放すと、その位置でブレードが固定されます。



- 2 P.21 の始動の仕方の通り操作し、移動させます。



### ⚠ 注意

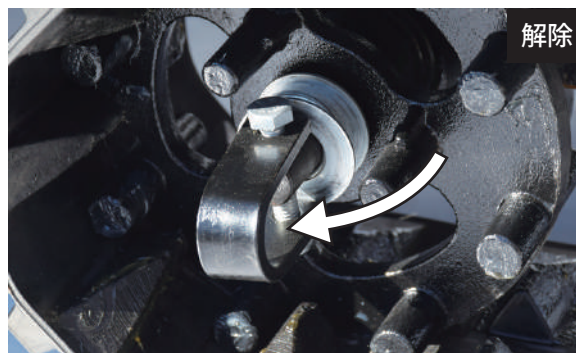
雪のない場所で、ブレードを接地させた状態で移動をさせないでください。スクレーパーが破損する恐れがあります。

## 手押しでの移動の仕方

- 1 ブレードを上げます。ブレード高さ調整レバーを握ってハンドルを押し下げレバーを放すと、その位置でブレードが固定されます。



- 2 クローラーの固定金具を解除します。



- 3 ハンドルを両手で握り押し移動させます。



### ⚠ 注意

雪のない場所で、ブレードを接地させた状態で移動をさせないでください。スクレーパーが破損する恐れがあります。



# 運転操作の仕方

## 警告

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- 操作中は、幼児、子供、ペット等を近づけないでください。
- 傾斜面を横切って除雪や坂道での除雪や停車は行わないでください。
- 除雪する場所の異物は予め取除いておいてください。
- 除雪部が異物に突き当たった場合には、速やかに停止してから電源スイッチキーを抜き異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。
- 後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。
- 除雪時は操作に集中し、特に後進時は、滑らないよう足元にご注意ください。
- 停止する時は、ブレードを接地させてください。

## 除雪作業の仕方

**1** P.21 の始動の仕方の手順 1～4 を行います。

**2** 深い雪や重たい雪の場合、図 1 のように一度に除雪を行うと、雪の逃げ場がなくなり進行できず、モーターに負荷がかかります。

図 2 のように除雪幅を狭くし、少しずつ除雪を行ってください。

図 1

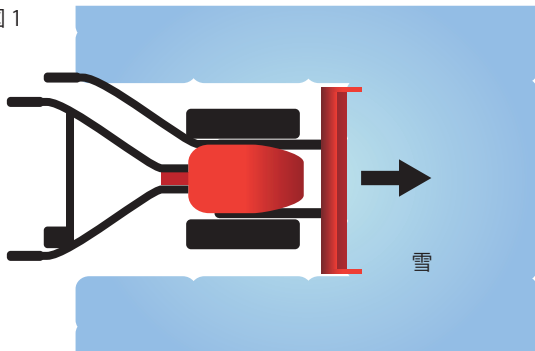
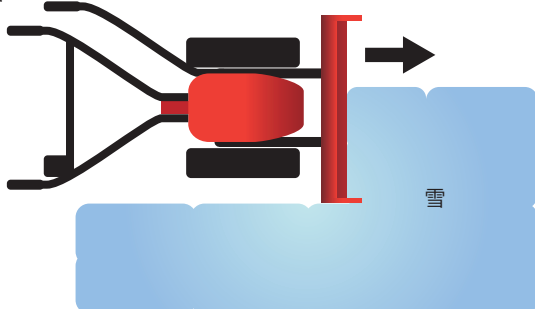


図 2



## ワンポイント

深い雪や重たい雪を除雪すると、ブレードに雪が多くなり進みにくくなります。ブレード高さ調整レバーでブレードの高さを少し上げ、前進、後進を繰り返して除雪します。

## 警告

- クローラーが止まってしまうような状態で、走行操作をしないでください。モーターに悪影響を与える恐れがあります。
- 除雪作業中に、異音や振動が発生したら、直ちに運転を中止し、原因を調べてください。

## 適した雪質

新雪	締まった雪	固まった雪	溶けかけの雪
◎	○	△	○

# 運転操作の仕方

## 除雪作業の仕方(雪を片側に寄せる)

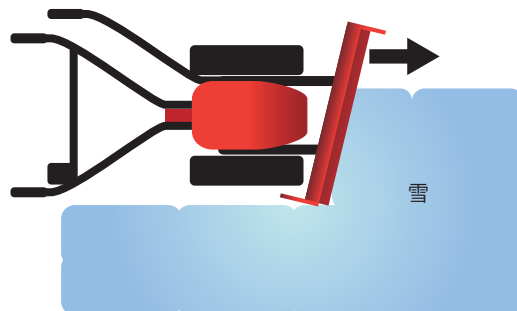
- 1 本機は、ブレードを回転させることがで、角度を付けた状態で除雪を行うと、雪を片側に寄せることができます。



- 2 ノブレバーを起点にサイドパネルを回転させ、取付穴を合わせてノブナットを取付け締めます。また、ノブレバーも締めます。



- 3 ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードを上げます。
- 4 サブハンドルで、ブレードを雪を寄せたい方向に回転させます。(P.16 参照)
- 5 ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードのスクレーパーを接地させます。
- 6 電源スイッチキーを挿込み「ON」にします。
- 7 前後進切替スイッチを「前進」にします。
- 8 安全レバーを握りながら変速スロットルを回します。
- 9 図のように除雪を行うことで、片側に雪を寄せることができます。



### ⚠ 注意

雪のない場所で、ブレードを接地させた状態で運転をしないでください。スクレーパーが破損する恐れがあります。

## 除雪作業の終了

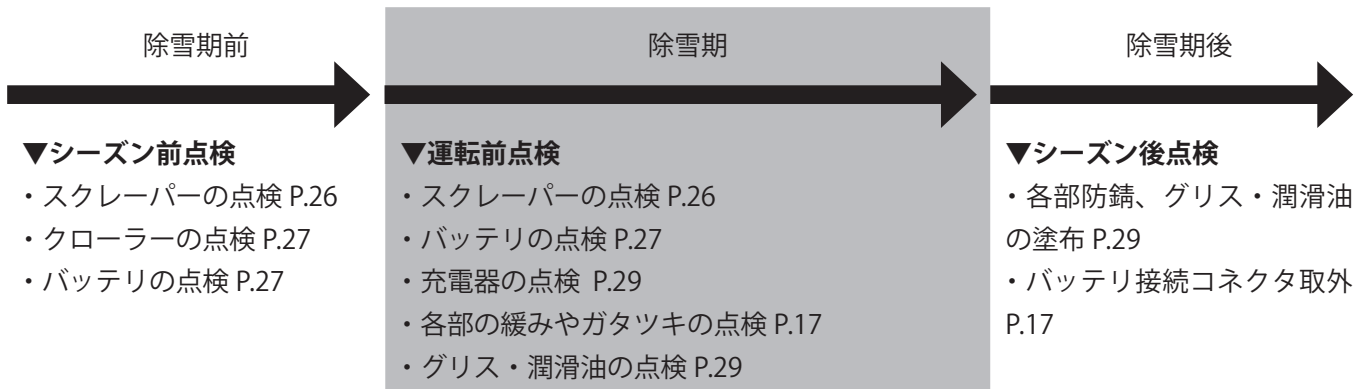
- 1 P.22 停止の仕方の手順 1～4 を行い停止します。
- 2 本体のお手入れをし、湿気の少ない安全な場所に保管してください。

### ⚠ 警告

- 本体に付着した雪は取除いてください。
- 除雪作業終了後は、雨ざらしにしないでください。
- 除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。充電せずにそのまま放置すると、バッテリーの性能が著しく低下します。
- 使用しない期間でも 3 ヶ月に 1 回は充電をしてください。

# 点検・整備の仕方

いつまでも安全にお使いいただくために定期点検を行ってください。



## 警告

- ・安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中に電源スイッチを入れを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・作業はバッテリー接続コネクタを取外してから行ってください。

## 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

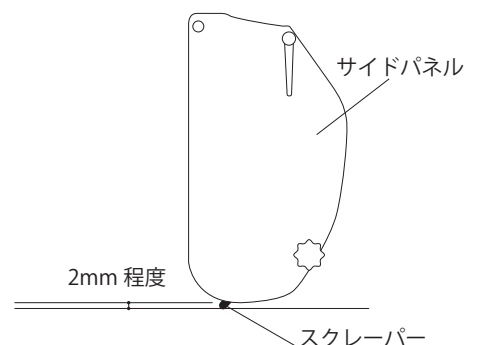
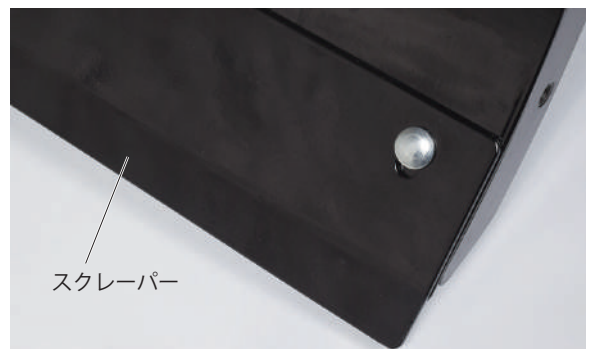
## スクレーパーの点検

本機を平坦な場所に置き、ブレードを接地させます。その際、スクレーパーがサイドパネルより2mm程度出るように調整します。

- 1 ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードを上に出します。



- 2 スクレーパー取付ボルト・ナット5カ所を緩め、サイドパネルより2mm程度出るように調整し、ナットを締付けます。



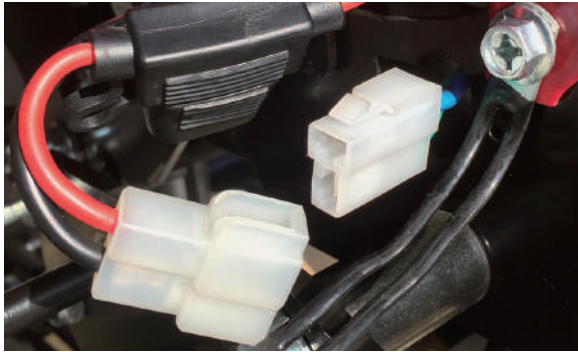


# 点検・整備の仕方

## バッテリーの点検

バッテリーパックにゆがみ、破損、液漏れがないか確認します。異常があった場合は交換が必要になります。

- 1 バッテリーの接続コネクタを外し、バッテリーパックを真上に引抜きます。



- 2 目視でバッテリーケースを確認します。

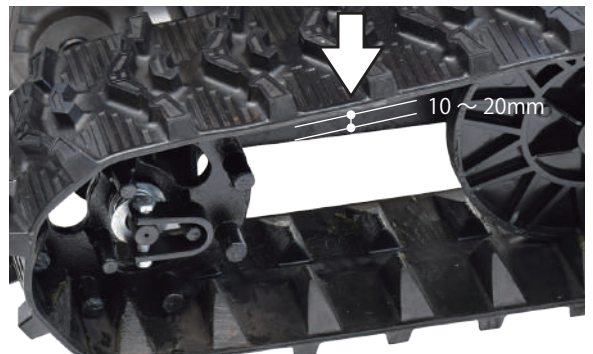
## ⚠️ 注意

バッテリーケースは重量物です。持ち上げる際、落下させないように十分ご注意ください。

## クローラーの点検

クローラーに亀裂や著しい摩耗がないか、適正なたるみか、車軸が破損していないかを確認します。

- 1 本機を平坦な場所に置き、クローラー中央部を強く押した時に 10～20mm のたるみになっているか、亀裂や著しい摩耗がないかを確認します。



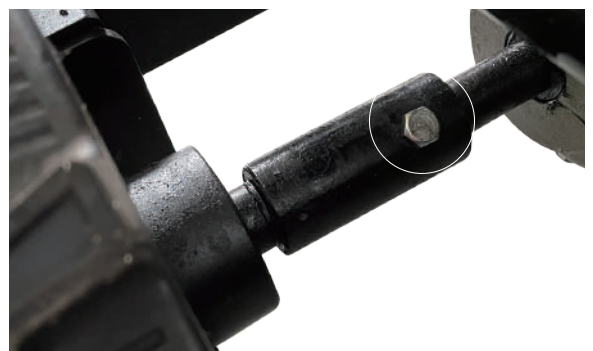
- 2 車軸が破損していないかを確認します。

## ⚠️ 注意

- 点検は、必ず平坦な場所で行ってください。
- クローラーが凍結している時は、正しい張りの点検ができません。凍結を去除してから点検を行ってください。

## モーター軸のボルトの点検

- 1 モーター軸のシャフトボルトが折れていないかを確認します。折れていると走行ができません。



# 点検・整備の仕方

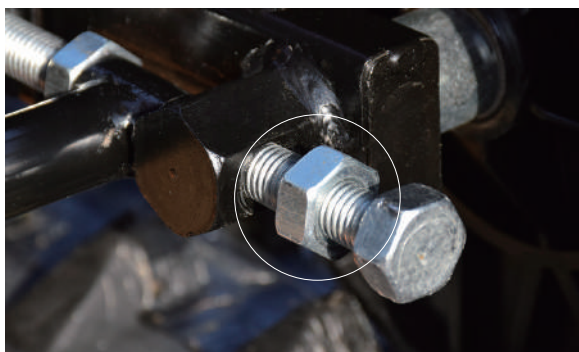
## クローラーの張り調整

19mm スパナやメガネレンチ、枕木等をご用意ください。調整する際はボルト、ナットに潤滑剤を塗布するとスムーズに作業が行えます。

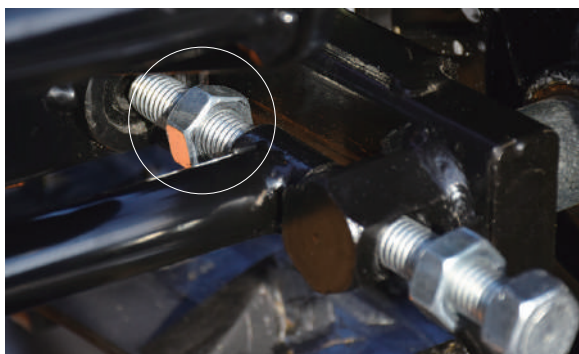
- 1** 枕木等を車体下に敷き、クローラーを浮かせます。



- 2** ①のナットを反時計回りに回し緩めます。



- 3** ②のナットを時計回りに回し緩めます。この時、③のボルトが回らないように、スパナで押さえながら行います。

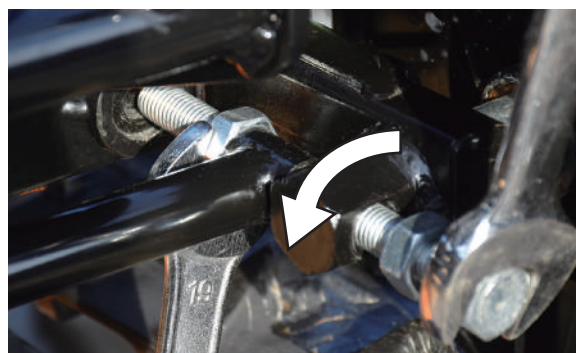


- 4** 反対側も同様に行います。これでクローラーがフリーになっている状態です。

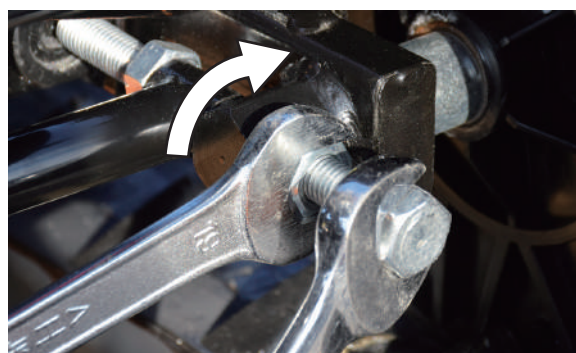
- 5** ③のボルトを奥に押し込み本体に当てます。



- 6** ③のボルトをスパナで押さえながら、②のナットを反時計回りで締付けます。



- 7** 最後に③のボルトをスパナで押さえながら、①のナットを時計回りで締付けます。





# 点検・整備の仕方

## グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分、撻動部、可動部を清掃し、グリスや潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをご使用ください。

- 1 撻動部に潤滑油やグリスを塗布します。



- 2 可動部等に潤滑油やグリスを塗布します。



## 充電器の点検



**警告**

充電器、電源コードに亀裂、破損などがあり、そのまま使い続けるとショート、発火、感電の原因になる恐れがあります。

- 1 充電器、電源コードに亀裂、破損などがないか確認します。異常があった場合は交換が必要になります。

## お手入れ

バッテリーパックから取外した状態で行ってください。

- 1 本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 2 本体やブレード、クローラーに付着した雪や泥などをきれいに取除いてください。特に足回りには、多くの雪や泥などが付着しますので、エアツール等で付着物を吹き飛ばし、布で拭き取ってください。  
次回気持ちよく使用できるように毎回お手入れをしてください。

## ⚠注意

- 雪や水分は必ず取除いてください。凍結すると、次回使用したい時に動かなくなる可能性があります。また、故障の原因になります。
- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やハンドルの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。
- オーガやオーガハウジング内をお手入れする場合は、必ず手袋を着用してください。

# 点検・整備の仕方

---

## 保管

- 1** 保管する前に本機を清掃します。
- 2** 本機を保管する時は、モーターが熱くなっていないことを確認します。
- 3** 本機に緩んだり損傷した部品がないことを確認します。必要な場合は、以下を実行してください。
  - ・損傷した部品を交換します。
  - ・ボルト、ネジ類を締めます。
- 4** 本機を乾燥した場所に保管します。
- 5** お子様の本機に近づかないように注意してください。

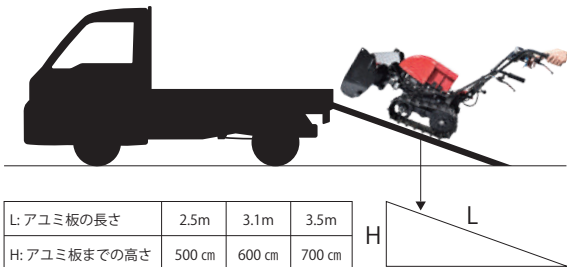
# 運搬の仕方

## 荷台への乗せ方

本機の積み降ろしは、平坦な場所で行ってください。また、バッテリー残量が十分あることを確認してください。

- 1 アユミ板は本機の重量+作業者の体重に耐えられる物を使用してください。  
本機重量：72kg

- 2 安全のため、アユミ板の傾斜角度が15度以下になるようにします。



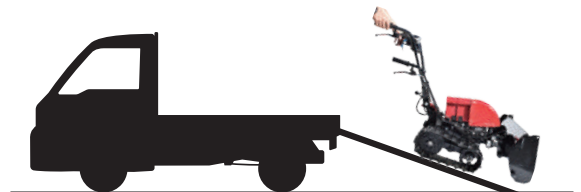
- 3 本機のブレードを上げます。(P.14 参照)
- 4 P.21 の要領で本機をゆっくり前進させ、アユミ板から荷台に乗せます。
- 5 本機が荷台に乗ったら、前後進切替をニュートラルにし、電源スイッチを切り、電源スイッチキーを抜きます。
- 6 バッテリー切れや故障などで自走できない場合は、P.23 の要領で手押しで行ってください。

## 注意

- ・アユミ板の途中で本機を停止させないでください。万が一停止した場合は、ハンドルをしっかり握り、アユミ板から踏み外さないよう慎重にゆっくり降りて、平坦な場所で再スタートをしてください。
- ・バッテリー切れや故障などで自走できない場合は、ハンドルをしっかり握りゆっくり行ってください。

## 荷台からの降ろし方

- 1 本機のブレードを上げます。(P.14 参照)
- 2 P.21 の要領で本機を前進させ、荷台からアユミ板に移動しゆっくり降りて行きます。

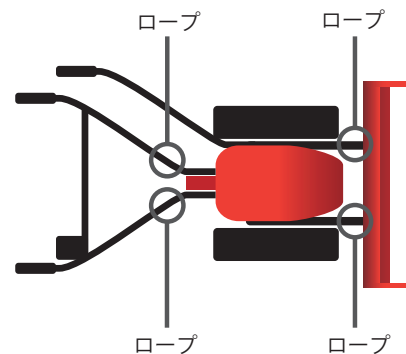


## 注意

後進では絶対に降りないでください。アユミ板から踏み外したり、つまづいたりした場合、本機が作業者に覆いかぶさってくることもあり、大変危険です。

## ロープの固定方法

本機を荷台に乗せ移動する際は、ロープやハーネス等で固定をします。





## 故障かな？と思ったら

症状	原因	対処
電源が入らない	バッテリーパックの接続コネクタが外れている	確実に接続 (P.17 参照)
	ヒューズが切れている	交換 (P.29 参照)
充電ができない	バッテリーパックの接続コネクタが外れている	確実に接続 (P.17 参照)
	充電器の3ピンコードがバッテリー充電用ソケットにしっかり接続されていない	確実に接続 (P.13 参照)
	バッテリーが著しく消耗している	バッテリーパックを本機から取り外し、1日放置。電圧が回復する場合があります。それでも充電できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
	充電器が故障している	ランプが点灯しているか確認
走行しない	電源スイッチが「OFF」になっている	「ON」にする
	変速スイッチが「ニュートラル」になっている	前進又は後進に切替える (P.15 参照)
	バッテリーの残量が不足している	バッテリーを充電 (P.18 参照)
	クローラーの固定金具が解除されている	固定金具を固定する (P.16 参照)
	スロットルを回していない	スロットルを回す (P.16 参照)
	モーター軸のシャーボルトが折れている	交換 (P.27 参照)
除雪ができない すぐ停止する	深い雪や重たい雪を除雪しモーターに負荷がかかっている	除雪幅を狭くし少しずつ除雪をする (P.24 参照)
	バッテリーの残量が不足している	バッテリーを充電 (P.18 参照)



本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を經由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない場合がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。  
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。  
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

### ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。  
**遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。**

### お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理<sup>\*1</sup>か、引取り修理<sup>\*2</sup>か、出張修理<sup>\*3</sup>かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

\*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。  
\*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。  
\*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

### ■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

### ■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

### ■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

### ■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日  
無休受付

カスタマー・サポート・センター  
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## 「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、  
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



**HAIGE**

ハイガー産業 株式会社

〒370-0603

群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。  
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を  
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50  
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW